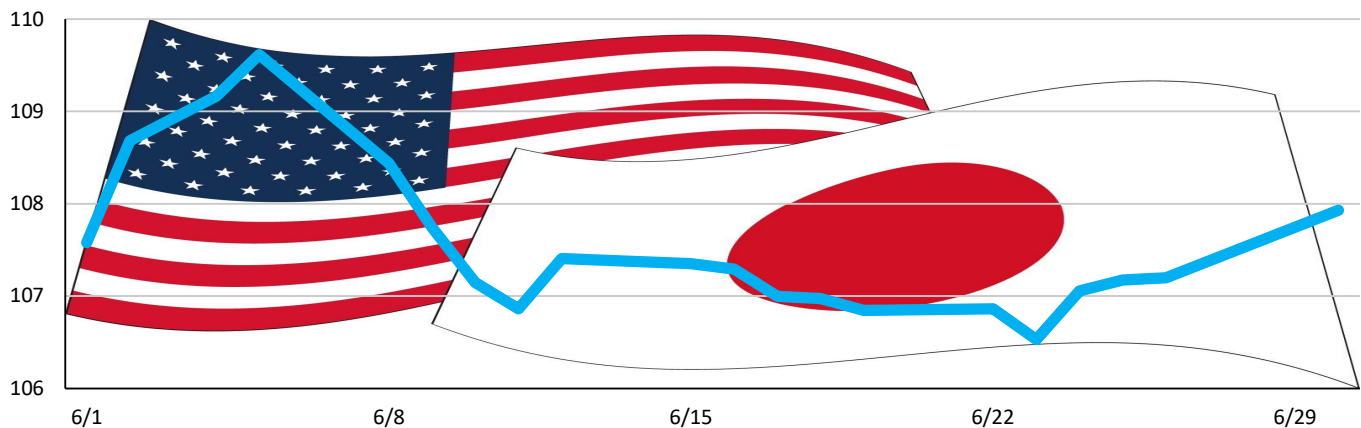


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 6月のドル円相場は109円後半～106円前半で推移。ECBの量的金融緩和をきっかけにリスク選好のユーロ買い、さらに米雇用統計が予想外の好結果を受けてドル買いも進行、経済活動再開の広がりも後押しとなり円は全面安となった。ところがFOMC後のパウエルFRB議長の弱気な発言や全米経済研究所が米国経済の拡大は今年2月に終了との発表をきっかけにNYダウが急落し、一転リスク回避感が台頭。ドル円は107円割れまで円高が進行した。その後は新型コロナに対する楽観論と悲観論が交錯する中、リスク回避の円買いと現金需要化のドル買いに挟まれ、方向感が無く推移していたが、月末は発表された良好な米経済指標をきっかけに株価が上昇した流れを受けて、リスク選好で6月を終えた。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: 引き続き新型コロナ第2波への警戒感と経済活動再開を優先する動きによる駆け引きが続いていくだろう。世界的に新型コロナの感染者数増加に歯止めはかかっていないが、経済活動停止長期化による悪影響を考えると、経済活動再開の流れにならざるを得ないことから難しいかじ取りとなっている。感染者数増大リスクや米中貿易問題、香港の国家安全維持法による国際金融機関への影響などを考えるとリスク回避の動きに警戒しながら対応していきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
7 / 16 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
7 / 24 (金)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
7 / 30 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
8 / 6 (木)	20 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
8 / 7 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
8 / 12 (水)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
8 / 14 (金)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレザンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。